

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成26年9月18日)

項目	ページ
1 第5回中海会議の概要について 【農地・水保全課】	1
2 種雄牛「百合白清2 (ゆりしらぎよに)」号の検定結果と今後の活用について 【畜産課】	3
3 鳥取県林業後継者大会「とっとり緑の仲間の集い」の開催について 【林政企画課】	4
4 境漁港の高度衛生管理基本計画及び特定漁港漁場整備事業計画について 【水産課、境港水産事務所】	5
5 「とっとり・おかやま新橋館」のオープンについて 【販路拡大・輸出促進課】	8

農 林 水 産 部

第5回中海会議の概要について

平成26年9月18日
企 画 課
水・大気環境課
農地・水保全課
河 川 課

平成26年8月25日に開催した第5回中海会議の概要は、次のとおりです。

- 1 日 時 平成26年8月25日(月) 午後2時～4時
- 2 場 所 国際ファミリープラザ(米子市)
- 3 構 成 員 鳥取県知事、島根県知事、米子市長、境港市長、松江市長、安来市長、国土交通省中国地方整備局長(副局長代理出席)、農林水産省中国四国農政局長
<オブザーバー> 環境省(中国四国地方環境事務所長)、防衛省(美保基地第3輸送航空隊指令(装備部長代理出席))

4 概 要

(1) 中海及び境水道の堤防、護岸等の整備について

部会「中海湖岸堤等整備に係る調整会議」(事務局:中国地方整備局出雲河川事務所)から、大橋川改修事業及び中海湖岸堤整備事業の進捗状況等について報告があり、意見交換を行った。

[主な報告]

- ・中海湖岸堤整備事業の短期整備箇所については、全て工事着手済み(全6箇所のうち2箇所は完了)。
⇒大橋川改修(拡幅)にあたっては、下流側に影響がないよう中海湖岸堤を先行するという整備手順で進めることについて、改めて国土交通省中国地方整備局に確認を行った。

(2) 中海の水質及び流動について

部会「中海の水質及び流動会議」(事務局:鳥取県水・大気環境課)から、水質測定結果や水質改善のための取組の報告が行われ、今後、第5期湖沼水質保全計画(平成21～25年度)の結果を検証しつつ、モニタリングの強化と効果的な水質浄化対策を進めることが報告された。

[主な報告]

- ・環境基準点における水質測定結果では、COD(化学的酸素要求量)、全窒素、全りんの中のいずれの項目も環境基準及び第5期湖沼水質保全計画の水質目標をともに達成していない。
- ・各項目とも米子湾が最高地点となっている。
- ・ここ30年の経年変化は、最高地点では、CODは横ばい、全窒素、全りんは低下傾向。湖心では、すべて横ばい。ここ5年の経年変化は、最高地点、湖心とも、CODは横ばい、全窒素、全りんはやや上昇気味。
- ・これまでの米子湾流動調査、底質調査、流入負荷量調査等の検証・分析を行い、今後も関係機関と連携し、具体的な水質浄化対策の検討を進める。
- ・H26年度中の第6期計画(平成26～30年度)策定に向け、対策強化や新たなモニタリング指標の設定にも取り組む。

[主な意見]

- ・森山堤防開削の効果について、モニタリングデータからは判断できないとのことであるが、開削から5年経過したので、一定の評価をお願いしたい。
⇒開削以降、本庄工区では、塩分躍層(塩分濃度の上層下層の差)ができ、夏季における貧酸素状態が長期化したこと以外は、中海全体で特定の傾向を見出していない。引き続き、専門家の助言をいただきながら、モニタリングを継続していく。
- ・水質評価について、環境基準の達成状況等の数字の羅列になると一般住民も理解しにくいので、どの部分が重要なのか、観測方法や地点の取り方の改善も含めて、専門家の知見を取り入れて工夫してほしい。

- ・色々事業が進められてきたが、水質はほとんど横ばいであり、どこに原因があるか調査が必要である。
⇒原因究明を含め、水質改善・浄化に向けた対策は、第6期計画に向け具体的に検討していく。
モニタリング強化については、国交省へも協力をお願いする。
中海は広いので、地域を分けて、各地域の状況に応じて覆砂など必要な対応を検討する必要があるかもしれない。

(3) 中海沿岸農地の排水不良について

「中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ」（事務局：米子市農林課）から、排水不良農地（米子市崎津内）でのモデル事業（工事残土を活用した客土）の進捗状況等について報告があり、ストックヤード方式による良質な残土確保について改めて検討するなど、排水不良農地の効果的な対策を引き続き検討していくことを確認した。

(4) 中海の利活用について

「中海の利活用に関するワーキンググループ」（事務局：島根県政策企画局）から、利活用アイデアの具体的な取組状況（中海周遊サイクリングコースの設定・路面表示、EVカーでエコツアー推進のための充電器整備、中海の藻の活用、中海産食材を使ったメニューのPR等）について報告があり、各アイデアについて引き続き検討を進めることを確認した。

来年はラムサール登録10年を迎えるので、登録10周年記念イベントを検討することとなった。

また、中海産食材を使用した試食（サルボウガイを使用した赤貝飯弁当、スジアオノリを使用したようかん）及び水辺の新しい活用の可能性を創造していくミズベリング・プロジェクト等の紹介が行われた。

(参考) 中海会議とは …平成21年12月19日に締結した鳥取、島根両県知事の「協定書」の趣旨に鑑み、沿岸住民の生命と財産を守り、美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、新たに中海の水に関する諸問題を協議検討するため設置(H22.4.22)した会議。

種雄牛「百合白清2（ゆりしらきよに）」号の検定結果と今後の活用について

平成26年9月18日
畜産課

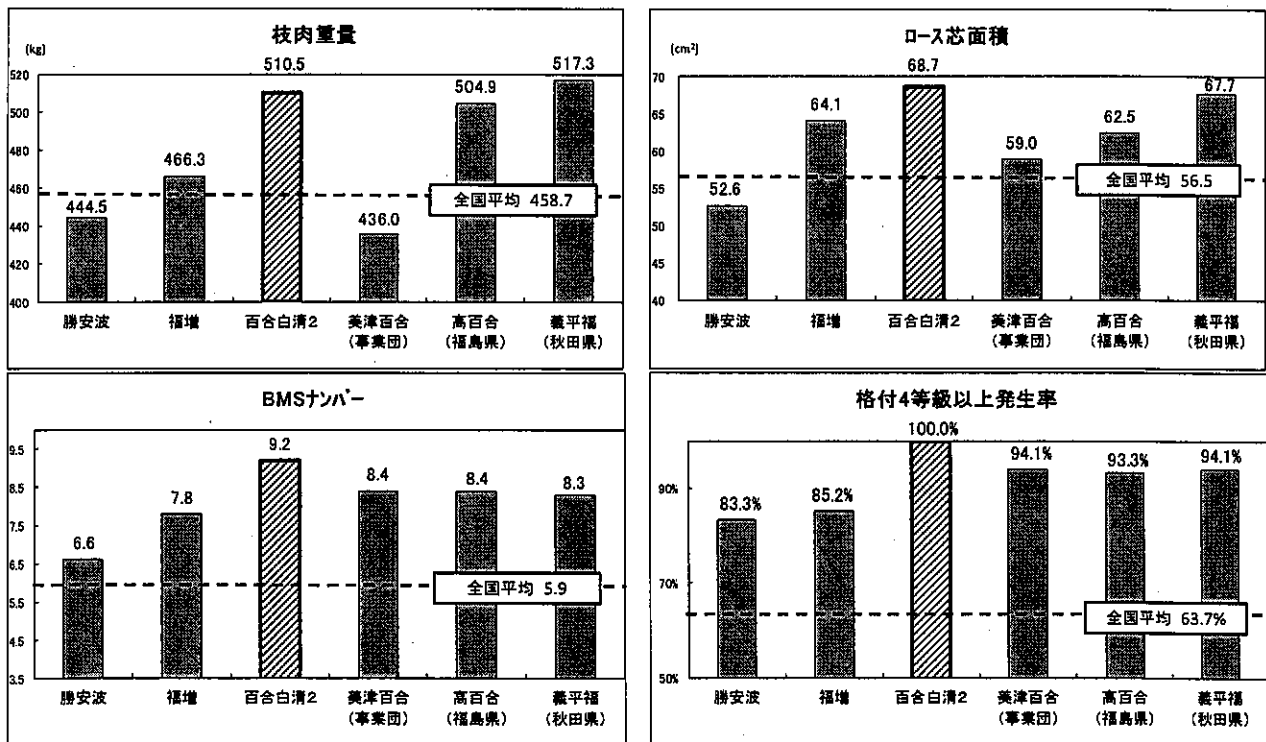
8月25日に県期待の種雄牛「百合白清2」号の現場後代検定*が終了し、産肉能力のすべての項目で県内歴代最高となり、特にBMS（霜降りの入り具合を示す指標）とロース芯面積は全国でも史上最高の成績を収めました。今後、本牛を活用して鳥取和牛のブランド価値向上と産地活性化を図ることとします。

※現場後代検定：種雄牛の産肉能力（肉量、霜降りの入り具合等）の遺伝する能力を調べるため、種雄牛の子（15頭以上）を農家等で通常に肥育をして出荷し、枝肉成績をもとに産肉能力を確認する能力検定試験のこと。この検定試験結果の優劣で種雄牛の能力評価が行われる。

1 検定成績について

- (1) 名号：「百合白清2（ゆりしらきよに）」 平成22年1月23日生（4歳）
- (2) 産地：東伯郡琴浦町 畜産試験場産（受精卵による生産）
- (3) 血統：父「百合茂」 母「みどり」

＜現場後代検定成績比較＞



※これまでBMSナンバーが全国トップ成績の「美津百合」(家畜改良事業団)、「高百合」(福島県)、ロース芯面積が全国トップ成績の「義平福」(秋田県)を掲載
 ※全国平均は、平成24年度に全国で出荷された和牛肉の平均値(「枝肉成績とりまとめ概要(平成24年度)」(平成25年10月(独)家畜改良センター)を参照)

2 「百合白清2」のPRと今後の活用について

(1) 日本一の種雄牛誕生記念大会の開催

10月下旬に、県内生産者や関係者で、日本一の成績を収めた種雄牛の誕生を祝う記念大会を開催し、肉質が格段に向上する「鳥取和牛」のブランド化の推進や、平成29年に宮城県で開催される第11回全共肉牛区での首席獲得に向けての決意表明を行う。

(2) 鳥取和牛ブランドの推進

「百合白清2」の子の肥育成績は、従来の種雄牛の子よりも肉質が格段に向上する（格付の中心が4等級から5等級へ）ことから、現在のブランド推進対策を見直すこととし、他県事例を参考にしながら、「百合白清2」を活用した産地活性化のためのアクションプログラムを策定する。

鳥取県林業後継者大会「とっとり緑の仲間の集い」の開催について

平成26年9月18日
林政企画課

林業の魅力や森林で働く楽しさ、やりがいなどをより多くの若者に伝え、林業への新規就業促進を図るとともに、森林・林業の仲間の輪を広げて定着率向上に資するため、鳥取県林業後継者大会「とっとり緑の仲間の集い」を開催します。

(参考)開催の経緯

昨年5月25日に三朝町で開催した「第42回全国林業後継者大会」を契機として、昨年度に第1回目の「とっとり緑の仲間の集い」を開催し、今年度で2回目となる。

- 1 日 時 10月4日(土) 13時~17時15分
- 2 場 所 倉吉未来中心 小ホール(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)
- 3 開催テーマ 「つなげよう!育てよう!広げよう!緑の仲間と森の未来」
- 4 主 催 鳥取県、とっとり緑の仲間の集い実行委員会
- 5 後 援 鳥取県森林組合連合会、公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団
- 6 参加者 若手林業者、県民等150名(予定)

7 大会概要

(1) 開 会

- ・来賓祝辞 鳥取県森林組合連合会会長 森下 洋一
- ・知事メッセージ 若手林業者による代読

(2) 鳥取県製作映像上映 「森で働く女性たち」

(3) パネルディスカッション

テーマ「林業を選ぶ 林業でつながる」

コーディネーター (株)古川ちいきの総合研究所 岩井 有加
(大学院在学中に女子目線で林業をPRする林業女子会@京都を設立。
現職では日本各地の林業・木材のブランド化を手がける)

パネリスト 鳥取県中部森林組合 金山 俊彦
一般財団法人エナジーにちなん 山崎 絵梨
グラップルズ@鳥取青年林業会 大下 武夫
そまのこ林業女子会@兵庫 米田 聡美

(4) ポスターセッション・展示

○ポスター

若手林業グループ、鳥取大学及び鳥取環境大学の森林・林業サークル、オーストリア調査・研修の報告

○展示など

林業装備の展示、林業就業相談コーナー

(5) 交流カフェ

立食形式で、出演者、スタッフ、一般参加者が相互交流を図る。

境漁港の高度衛生管理基本計画及び特定漁港漁場整備事業計画について

平成26年9月18日
水産課
境港水産事務所
空港港湾課

この度、水産庁は境港地区の「高度衛生管理基本計画」を策定し、公表しました（9月10日公表）。併せて、当該計画に基づく漁港整備の基本方針等を定めた「特定漁港漁場整備事業計画（案）」についても公告・縦覧の上、10月中に公表となる見込みです。

1 高度衛生管理基本計画

(1) 経緯等

水産庁は、さかいみなと漁港・市場活性化協議会（会長：大谷和三）が策定した「さかいみなと漁港・市場活性化ビジョン（平成25年3月策定）」を踏まえ、平成25年度から直轄で調査を行い、当協議会とその下部組織である漁港・市場ワーキンググループ及び生産者・荷受・仲買の各専門委員会の意見を聞きながら、「高度衛生管理基本計画」の検討を進め、この度、策定公表。

※水産庁による「高度衛生管理基本計画」の策定は、長崎、枕崎、八戸、気仙沼、石巻、塩竈、銚子、下関に次いで境漁港は9件目。

(2) 基本的考え方

- ・漁業種類毎に陸揚げエリアを設定し、さらに搬入・搬出エリアを区分（ゾーニング）
- ・人及び車輛の入場管理の実施、囲壁の設置、電動フォークリフトの導入等により異物混入防止等

2 特定漁港漁場整備事業計画（案）

特定漁港漁場整備事業計画は、漁港漁場整備法の規定により、高度衛生管理基本計画で定めた内容等に基づき漁港整備の基本方針等を定めるものであり、境漁港などの特定第3種漁港については、国が定めることとされている。

(1) 上屋・荷捌き所等

- ・1号上屋と2号上屋を建替え、新たに陸送物の上屋を増設
- ・新たに5号岸壁にかにかご上屋を、6号岸壁に6号上屋を整備
- ・用地（人工地盤：屋上駐車場） 12,000㎡
- ・道路（1・2号上屋前） 485m
- ・清浄冷海水取水施設 1式

(2) 岸壁等

- ・-6m泊地浚渫（5～7号岸壁） 7,300㎡
- ・-6m岸壁（5～7号岸壁：増深改良） 245m
- ・-6m岸壁（栈橋新設） 313m
- ・-6m岸壁（2号岸壁：耐震改良） 157m

(3) 全体事業費 120億円（うち鳥取県実質負担額約13億円）

(4) 事業期間 平成26年度～35年度（10年間）

3 今後のスケジュール

	県	国（水産庁）
H26年 9月		<ul style="list-style-type: none"> ・高度衛生管理基本計画の公表 ・特定計画（案）の策定 ・特定計画（案）の公告・縦覧
10月		<ul style="list-style-type: none"> ・特定計画（案）の協議（水産庁⇄鳥取県） ・特定計画の公告
11月～	<ul style="list-style-type: none"> ・市場（上屋）整備に係る基本設計 ・岸壁整備に係る詳細設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定漁港漁場整備事業（交付申請⇄交付決定）
H27年 ～H35年	<ul style="list-style-type: none"> ・市場（上屋）整備に係る実施設計 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">※市場及び岸壁等を順次整備</p>	

境港地区 高度衛生管理基本計画書（概要）

1 地域の概況

- ・昭和48年に特定第3種漁港に指定された境漁港は、全国的な水産物の生産・流通の拠点を担ってきた。
- ・水産業を取り巻く厳しい情勢の中、さかいみなと漁港・市場活性化協議会は、「社会に信頼され、活力があり、親しまれる漁港・市場」を境港の将来のあるべき姿とした「さかいみなと漁港・市場活性化ビジョン」を作成し、日本一魅力ある漁港・市場づくりを目指している。

2 高度衛生管理の基本方針

○境漁港で衛生管理を行う重要性

全国水揚げ上位の沖合漁業中核基地である境漁港で高度衛生管理を実施することは、西日本水産物の衛生管理に与える影響も大きく、背後の加工場への衛生的な原料供給にも寄与できる。

○高度衛生管理の基本的な考え方

取り扱う水産物の陸揚げから荷さばき、出荷に至る各工程での危害を分析・特定し、危害要因を取り除くためのハード及びソフト対策を講じるとともに、取組の持続性を確保するため、定期的な調査・点検の実施及び記録の維持管理と要請に応じた情報提供を可能とする体制の構築。

○高度衛生管理導入の対象エリアと対象水産物

- ・トラック直積みのまき網とそれ以外の漁業岸壁を分離し、各漁業種類毎に高度衛生管理エリアを設定。
- ・対象水産物は、沖合底びき網漁業のズワイガニ、カレイ、ハタハタ等、いか釣漁業のイカ、まき網漁業のマグロ、ブリ、アジ、イワシ、サバ、かにかご漁業のベニズワイガニ、境漁港に陸送される陸送物。

3 陸揚げから荷さばき、出荷の各段階の問題点と対応方針

問題点		対応方針（高度衛生管理市場の基本方針）
①	トラック直積みのまき網物とセリ物の同時活用による異物混入	・トラック直積み岸壁とまき網以外の陸揚岸壁の分離
②	1～2号上屋内への車両進入による異物混入	・上屋内は電動フォークリフトのみ使用可能とし、外部車両の場内進入は原則禁止
③	水産物・人・車両の動線混在による交差汚染	・水産物の一方向の流れ
④	2号上屋の老朽化と狭隘	・1号と2号上屋の連続と陸送物上屋の増設
⑤	市場利用者からの異物混入	・上屋内の専用入口に手洗い場、足洗い場を設置
⑥	容器の衛生面	・木箱の廃止
⑦	床からの汚染	・直置き禁止、内臓除去エリアの排水施設整備
⑧	活ガニタンクに使用する海水の水質	・清浄冷海水取水施設の整備
⑨	水産物の温度管理	・水産物の低温保持（低温室、給氷施設の整備）
⑩	水産物に問題が発生した場合の対応	・衛生管理に関する情報発信と提供体制の確立
⑪	3～5号上屋の風、日射、異物混入	・かにかご上屋の整備
⑫	3～5号岸壁での血水の排出による汚染と鳥類の糞の混入	・まき網直積みトラックの待機場所に屋根と防鳥ネット、荷台への防鳥シート対策
⑬	6号岸壁での異物混入	・6号上屋の整備

4 高度衛生管理を実施するための体制の構築

今後、ハード整備と合わせ、高度な衛生管理体制を実現するため、衛生管理マニュアル作成や衛生管理責任者、役割分担、記録保持ができる体制を構築する。

5 整備スケジュール

事業スケジュール

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	備考
-6.0m 岸壁（新設）												模倣構造
-6.0m 2号岸壁（改良）												耐震化
-6.0m 5～7号岸壁（改良）												増深
-6.0m 泊地												
道路												
用地（人工地盤）												駐車場
荷さばき所（1号上屋）												
荷さばき所（陸送物上屋）												
荷さばき所（2号上屋）												
荷さばき所（3～5号上屋）												
荷さばき所（6号上屋）												
清浄冷海水取水施設												

6 高度衛生管理の推進により見込まれる効果

- ・国民への安全安心な水産物の提供による付加価値向上、魚価安定。
- ・背後の加工場の衛生管理強化の促進、境港ブランドの強化、輸出拡大の期待。

7 基本計画の着実な推進に係る事項

- ・完成後は、市場開設者の鳥取県（指定管理者含む）と卸売業者（鳥取県漁協、境港魚市場（株）、JFしまね）、境港鮮魚仲買組合で協力し運営していく。

境港地区 高度衛生管理基本計画 (概要)

《概要》

- ・境漁港は、特定第3種漁港（全国で13漁港）の一つ。
- ・まき網漁業、底びき網漁業及びかにかご漁業等日本海沖合漁業の拠点。
- ・国・県・市・市場関係者等からなる「さかいみなと漁港・市場活性化協議会」を設置し、衛生管理体制の構築について方向性を決定。

事業箇所：境港市昭和町

計画工事種目：

-6m泊地浚渫	7,300㎡
-6m岸壁(新設)	313m
-6m岸壁(耐震改良)	157m
-6m岸壁(増深改良)	245m
道路	485m
用地(人工地盤)	12,000㎡
清浄冷海水取水施設	1式
荷さばき所	1式

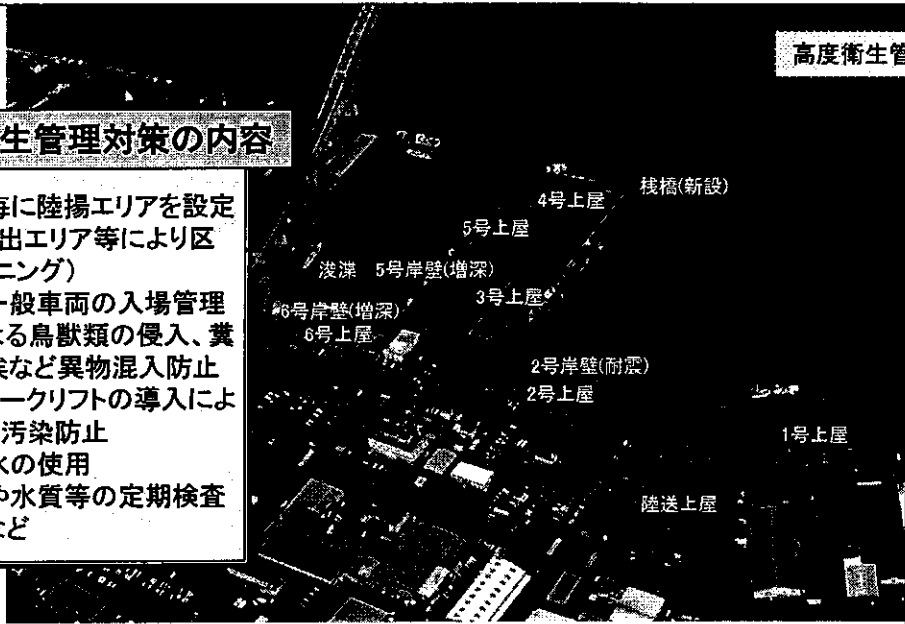
事業費：120億円

事業期間：平成26年度～平成35年度

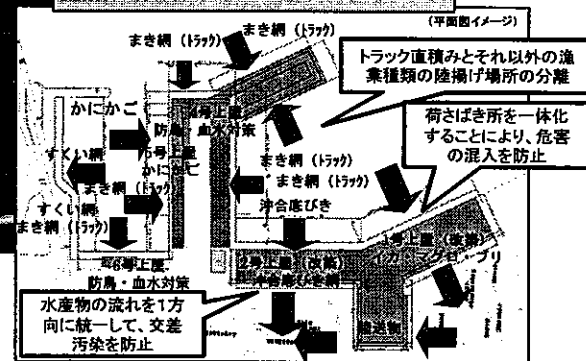
高度衛生管理対策の内容

- ・漁業種毎に陸揚エリアを設定
- ・搬入・搬出エリア等により区分(ゾーニング)
- ・人及び一般車両の入場管理
- ・囲壁による鳥獣類の侵入、糞尿や塵埃など異物混入防止
- ・電動フォークリフトの導入による排ガス汚染防止
- ・清浄海水の使用
- ・水産物や水質等の定期検査の実施など

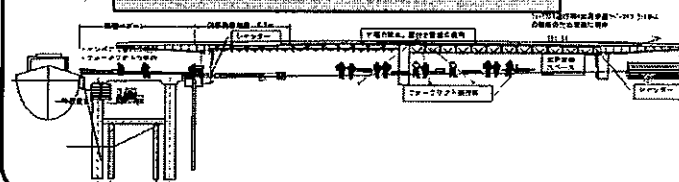
高度衛生管理対象範囲



効率的な施設の再配置



岸壁と荷さばき施設の一体的整備



現在の状況



- ・ゾーニングが不徹底
- ・車両進入による排ガスの影響

- ・木箱の使用
- ・水産物を直接床に置いており、不衛生

整備後(イメージ)

「とっとり・おかやま新橋館」のオープンについて

平成26年9月18日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

9月28日(日)にオープンする「とっとり・おかやま新橋館」の現在の状況について、報告します。

1 施設整備の状況

内装工事が完了(9月4日物件引渡し)し、什器等の備品を整備している。

9月3日には、県産材(鳥取県:杉、岡山県:檜)を使用したパンフレットラックが設置された。



(観光・移住コーナーのパンフレットラック
鳥取県:杉(右)、岡山県:檜(奥))

2 店舗の状況

(1) 物販店舗

8月18~20日に、県内事業者を対象に商談会を開催し、商品取引に係る契約を進め、常温保存、消費期限の長いものから、順次、搬入・陳列する。

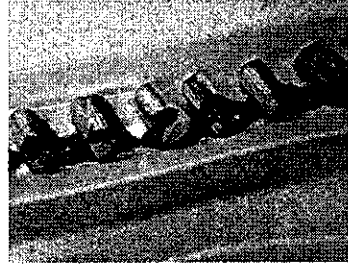
(2) 軽飲食店舗

鳥取・岡山両県の食材を使用したメニュー開発に取り組んでおり、9月18日(木)には、「とっとり・おかやま新橋館」にて、メディアを対象とした試食会を開催する。

<メニュー開発段階で出された試作料理>



(鳥取県産「カレイ」使用した
アクアパッツア)



(鳥取県産「白ねぎ」の
バジルソースかけ)



(岡山県産「黄ニラ」とはまぐり)

3 オープンに向けた情報発信

(1) 首都圏で開催する各種催事でのチラシ配布

【鳥取県】三越銀座店「食のみやこ鳥取県フェア」、三越恵比寿店「鳥取県フェア」、プランタン銀座「食のみやこ鳥取県2000人の梨・大試食会」、JR東京駅「新甘泉&新幹線イベント」、東京鳥取県人会総会

【岡山県】東京岡山県人会総会

(2) 各種メディアに対するPR活動

【鳥取県】「旬の鳥取」マスコミPRキャラバン、TBS「ひるおび・プレゼント企画」

【鳥取・岡山共同】TV東京「ワールドビジネスサテライト」、雑誌掲載等

(3) WEBやFacebookを通じた案内【鳥取・岡山共同】

(4) 首都圏各所での広告掲出

【岡山県】東京メトロ銀座線新橋駅・JR東京駅・JR品川駅でデジタルサイネージを掲出

【鳥取・岡山共同】「とっとり・おかやま新橋館」や「都道府県会館」でのポスター等の掲出

(5) その他【鳥取・岡山共同】

「とっとり・おかやま新橋館」周辺のオフィス等に向けたポスティングと新聞折込チラシ
東京メトロ主要駅24駅30箇所へのポスター掲出
都内の企業訪問、国の省庁訪問時にチラシ配布

4 オープニングイベントについて

別添チラシを参照